

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

様式 A-4-1 【記入例】（調整金次年度使用の場合）

平成31年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）交付請求書

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

		機関番号	1	2	3	4	5
所属研究機関名称		〇〇大学					
研究代表者	部局	〇〇学部					
	職	教授					
	氏名	〇〇 〇〇 [印]					

押印すること。

さきに交付の決定の通知があった平成31年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）について、下記により概算払で支出してくださるようお願いします。また、受領方を下記委任先に委任いたします。

記

1. 研究種目名 新学術領域研究（研究領域提案型）
 『学術研究支援基盤形成』

2. 課題番号 18H12345

3. 研究課題名 〇〇〇に関する研究

4. 研究期間 平成30年度～平成34年度

5. 領域番号・区分 —

6. 請求額 (円)

	直接経費	間接経費	合計
平成31年度請求額 (a + b)	500,000	0	500,000
うち前期分 (4月～9月) 請求額 (a)	500,000	0	500,000
うち後期分 (10月～3月) 請求額 (b)	0	0	0

7. 委任先 所属研究機関名：〇〇大学（学校法人□□）

研究機関代表者：理事長・〇〇〇〇〇
 （職・氏名）

次年度使用の場合、間接経費の額は「0」とすること。

「6. 請求額」の各欄には、今回の調整金による追加配分を申請する増額分のみを記載すること。また、前期分に全額記載し、後期分はすべて「0」とすること。